（試作開発プロセス図　関連図表）試作開発　タートル相関図　　《 評価結果：　２）製作計画ステージ　チェックポイント 》

（註）「タートル図」とは　・・・　プロセスの活動を プロセスに必要な要素から分析（検討）する“プロセス評価手法”

何を用いるか？（重要なインフラ）

【設備】 CAD 他の社内設計設備
【道具】情報の伝達と保管（PC、ファイリング）
【資材】紙モデル製作用資材

誰が関わるか？（要員、供給者、関係者）

【社員】田中功（設計起案）水野（妥当性確認）、事務局
【社外】設計メーカー、関連情報提供（産総研・名古屋）
【力量】製品企画力（魅力ある試作品）、設計力、金型知識
事務管理能力

インプット（目的・課題）

【ﾃｰﾏ】 設計プランの総企画
【仕様】試作品と金型の起案
※PJ 仕様の充足
【課題】
Ｑ：図面と製作の妥当性
Ｃ：予算範囲内での製作費試算
Ｄ：６月末までに図面を作成

試作開発プロセス
２）製作計画ステージ

・設計プラン総合起案
・試作品プラン、図面類
・金型プラン、図面類
・図面類の妥当性検証
・その他

アウトプット（結果・課題）

【対象】適正な実現計画と図面製作
【ﾃﾞｰﾀ】試作品図面・紙モデル
金型図面、チェックリスト等
【課題】
Ｑ：図面の妥当性、実現妥当性
Ｃ：予算を超える場合の計画変更
Ｄ：各種遅れの場合の計画変更

どう実現するか？（重要な手段・技術）

【技術】製品計画技術、設計技術
【方法】 ISO9001 要求事項の援用、社内ノウハウ活用
【管理】
計画：「試作開発プロセス図」を使用する
企画：当社の過去の試作品ＤＢから適正品を調査
適正品にＰＪニーズを掛け合わせ「試作品」想定
設計：田中担当の設計技術力＋内外の支援
確認：実現可能性と「特性を公開説明する」立場で検証

どう達成するか？（目標・指標・検証）

【目標】ＱＣＤを中心に各課題を解決しプロセスを終了
【指標】スケジュール通りの達成
【検証】
Ｑ：プレス能力を加味想定した設計過程での確認
素材特性の PR 効果、インパクトも確認
「取り扱い注意事項」を検証（加工時の危険性）
Ｃ：予算範囲内での製作費かどうか段階的に確認
Ｄ：作図完成：６月末